

令和6年度 第2回 理事会議事録

日時：令和6年6月12日（水） 19:00～21:00

場所：代表理事宅

[出席者]

理事：立津統、末吉恒一郎、久高将臣、上地誠之、仲宗根美紀、金城良和、當間智史、宮里由乃、比嘉俊文、高安信吾、安村大拙、玉城すみれ、武富新太郎、平良雄司、下里真司

監事：千知岩伸匡

第25回沖縄県理学療法学会実行委員：島袋公史、島袋みちる

欠席：南部路治

書記：宮城和子

WEB担当：上地誠之

[審議事項]

- ・第1号議案 入会の承認に関する件…【資料ファイル1、1-1】
- ・第2号議案 健康づくり支援事業推進委員会委員の推薦並びに委嘱依頼に関する件、第1回委員会日程調整における出欠に関する件…【資料ファイル2】
- ・第3号議案 令和6年度多良間村地域支援事業にかかる講師紹介依頼に関する件…【資料ファイル3】
- ・第4号議案 令和6年度那覇市いきいき百歳体操リーダー養成講座受託に関する件…【資料ファイル4】
- ・第5号議案 沖縄 JRAT 協賛に関する件…【資料ファイル5】
- ・第6号議案 テフバレーボール世界大会医療サポート派遣協力に関する件…【資料ファイル6、6-1、6-2】
- ・第7号議案 Instagram アカウント開設に関する件
- ・第8号議案 第42回小児糖尿病サマーキャンプ『ハッピーサマークラブ』後援に関する件…【資料ファイル7】
- ・第9号議案 第25回学会大会後援に関する件

議決に加わることの出来る理事数 15名

出席者理事数 14名

上記のとおり、理事及び監事の出席が確認され、代表理事末吉恒一郎が議長となって、本理事会は集合とWeb会議システムを併用して開催する旨宣言した。

議長末吉恒一郎は、参加理事立津統、久高将臣、上地誠之、仲宗根美紀、比嘉俊文、當間智史、宮里由乃、玉城すみれ、武富新太郎、金城良和、下里真司、平良雄司、安村大拙、高安信吾、監事千知岩伸匡に対し、Web会議にて本理事会に出席する旨を説明し、Web会議システムにより、出席者の映像と音声が即時に他の出席者に伝わり、出席者が一同に会するのと同様に適時的確な意見表明が互いのできる状態となっている事が確認されて、議案の審議に入った。

[報告事項]

1. 会長

※月次活動報告

2. 副会長

※月次活動報告

3. 事務局

※月次活動報告

4. 地域局

※月次報告書

5. 社会職能局

※月次活動報告

6. 教育学術局

※月次活動報告

7. 各種委員会

第 1 号議案 入会の承認に関する件

提出日：令和 6 年 6 月 11 日	提出者：上地誠之	
担当局：事務局	担当部：総務部	
議案主題	入会の承認に関する件 【資料ファイル 1】	
議案内容及び提出理由	<p>【入会申請者】計 31 件 承認：31 件、 否認：0 件、保留：0 件 令和 5 年度累計：101 名 (R5. 4. 1～R6. 3. 31)</p> <p>【会員動向】令和 6 年 5 月 31 日現在 ※連絡不能者含む</p> <ul style="list-style-type: none"> ・在会会員数：1448 名、施設所属会員数：1344 名、自宅会員数：104 名、休会：435 名 (令和 5 年度：405 名) ・会員所属施設数：330 施設 <p>【期間会員動向】令和 6 年 5 月 1 日～令和 6 年 5 月 31 日</p> <p>※当協会入力状況から検索</p> <p>異動：13 名 (県内：8 名 転入：3 名 転出：2 名) (うち再申請：0 名 否認：0 名)</p> <p>休会：9 名 ※休会継続含む</p> <p>退会：0 名</p> <p>復会：2 名</p>	
審議内容	<p>1 入会の承認について</p> <p>【質疑応答】</p> <p>< 當間理事 > 復会 2 名の詳細を知りたい。</p> <p>< 上地理事 > 産休育休明けや PT 職への復職での復会となっている。また、議案書の記載方法については検討していく。</p>	
審議結果	<p>全員一致で可決。</p> <p>可：14 名</p> <p>否：0 名</p>	
	担当局：事務局	担当部：総務部
備考		

第 2 号議案 健康づくり支援事業推進委員会委員の推薦並びに委嘱依頼に関する件、
第 1 回委員会 日程調整における出欠に関する件

提出日：令和 6 年 6 月 6 日	提出者：末吉 聖子
担当局：事務局	担当部：総務部
議案主題	・健康づくり支援事業推進委員会委員の推薦並びに委嘱依頼に関する件、第 1 回委員会 日程調整における出欠に関する件【資料ファイル 2、2-1、2-2】
議案内容及び提出理由	<p>(公財) 沖縄県老人クラブ連合会より、老人クラブ連合会が行う健康づくりへの取り組みを支援するため、「健康づくり支援事業」を実施に伴い、効果的実施と円滑な事業運営を行うために推進委員会を設置する運びとなったとの事。当会へ、健康づくり支援事業推進委員会委員の推薦並びに委嘱の依頼となっている。</p> <p>委員の任期は 2 年とする。但し、補欠委員の任期は前任者の残任期間とする。 委員会の構成メンバー：県老連理事、医療関係者、県高齢者福祉介護課、県健康長寿課、学識経験者</p> <p>また、推薦頂いた委員へ、第 1 回会議日程調整の出欠回答依頼もあり。 ご確認よろしくお願ひ致します。</p> <p>【第 1 回推進委員会会議】 会場：沖縄県総合福祉センター会議室（予定） 時間：14 時～16 時</p>
審議内容	<p>1 委員の推薦並びに委嘱について 可 ・ 否</p> <p>2 健康づくり支援事業推進委員会：委員推薦者について</p> <p>3 第 1 回委員会 日程調整において、下記 3 案への出欠について 令和 6 年 6 月 24 日（月）：出席可 令和 6 年 6 月 26 日（水）：出席可 令和 6 年 7 月 2 日（火）：出席可</p>
審議結果	<p>1 委員の推薦並びに委嘱について 全員一致で可決 可：14 名 否：0 名</p> <p>2 健康づくり支援事業推進委員会：委員推薦者について 推薦者：仲宗根 美紀 氏 全員一致で可決。 可：14 名 否：0 名</p> <p>3 第 1 回委員会 日程調整において、下記 3 案への出欠について 令和 6 年 6 月 24 日（月）：出席可</p>

	令和6年6月26日(水)：出席可 令和6年7月2日(火)：出席可 ※会議出席日については推薦者と事務局で調整し、回答する。 全員一致で可決。 可：14名 否：0名	
	担当局：事務局	担当部：総務部
備考	・依頼文書の回答期限は令和6年6月3日(月)までとなっている。 ご担当者様へお電話にて、令和6年6月12日(水)開催の当会第2回 理事会後の回答希望をお伝えし、了承いただいた。 ・第1回 推進委員会日程調整_回答期限：令和6年6月21日(金)	

第3号議案 令和6年度多良間村介護保険事業地域支援事業にかかる講師等紹介依頼に関する件

提出日：令和6年6月3日	提出者：上地誠之、末吉聖子
担当局：事務局	担当部：総務部
議案主題	令和6年度多良間村介護保険事業地域支援事業にかかる講師等紹介依頼に関する件【資料ファイル3】
議案内容及び提出理由	<p>多良間村役場住民福祉課より、「多良間村 介護保険事業地域支援事業」に係るリハビリテーション専門職における講師等依頼文書が届く。</p> <p>多良間村では、平成27年度から島内在住の「健康運動指導士」有資格者の方へ講師依頼し、一般介護予防教室・ふしゃぬふ学級(介護予防運動教室)を実施。しかし、「コロナ渦にて実施回数の減少」「参加者の高齢化により通所型サービスへの移行」「令和6年度事業で講師不在」等の状況が生じている。</p> <p>以上の理由にて、当協会へ新たに「介護予防教室」の講師派遣をご依頼の経緯となっている。</p> <p>内容をご確認頂き、ご審議宜しくお願い致します。</p> <p>【派遣依頼内容および希望派遣回数】</p> <ol style="list-style-type: none"> ふしゃぬふ学級(介護予防教室)への派遣(新規)：計5回 地域ケア会議への派遣(継続)：計4回 地域リハビリテーション活動支援事業への派遣(継続)：計2回
審議内容	<ol style="list-style-type: none"> 講師派遣依頼の可否について 可 ・ 否 派遣者について <ol style="list-style-type: none"> ふしゃぬふ学級(介護予防教室)への派遣： 地域ケア会議への派遣(継続)： 地域リハビリテーション活動支援事業への派遣(継続)：

審議結果	全員一致で可決。 可：14名 否：0名 ※派遣者については事務局と宮古支部に一任する。	
	担当局：事務局	担当部：総務部
備考	・	

第4号議案 令和6年度那覇市いきいき百歳体操リーダー養成講座受託に関する件に関する件

提出日：令和6年 6月 11日	提出者：上地誠之
担当局：事務局	担当部：県・市町村事業担当
議案主題	那覇市いきいき百歳体操リーダー養成講座事業受託について 【資料ファイル4, 4-1】
議案内容及び提出理由	<p>那覇市ちゃーがんじゅう課より、令和6年度那覇市いきいき百歳体操リーダー養成講座事業受託への依頼あり。</p> <p>実施要項より 「高齢者の健康保持、介護予防のために、住民が主体となって、本体操を地域で普及するための知識や実技を習得させ、地域での主体的な介護予防サークル等の立ち上げや既存の体操等サークルでは本体操を普及するリーダーを養成することを目的に実施する。」とある。</p> <p>定款第4条（1）理学療法を通じて、県民の医療・保健・福祉の増進に寄与するための事業とし、ご審議をお願い致します。</p> <p>※事業受託意向の申込書の提出が必要となる。</p> <p>（内容） 日時：令和6年9月12日、9月19日、9月26日、10月3日、10月10日 （予備日：10月17日（木）毎週木曜日 14時～16時 5回シリーズ 場所：沖縄セルラースタジアム那覇 会議室 1～3 対象者：20歳以上の市民で医師から運動制限を受けていない方で、講座受講後に地域でボランティアとして活動できる方 受講定員：15人（必要時施設の状況に応じて定員数を調整する） 実施者：理学療法士2人以上、血圧測定等健康管理を行う看護師か保健師の1人以上の配置し、安全に実施する。 委託費：420,475円</p>
審議内容	契約の可否について 【質疑応答】 <仲宗根理事> 圏域の方と南部支部で連携できたほうがいいのではないかと。 <上地理事> 実働部隊だけで活動するのは難しいので理事の協力が必要。

	<p><下里理事>大浜第一病院で対応したが、、、</p> <p><上地理事>次年度以降も継続するのであれば広報も協会で行っていかないと いけない。今回は期日が迫っているので那覇市で対応する。今回は1回目と最 終日は那覇市包括の職員も参加予定。那覇市は毎回同じ講師との希望あり。議 会でも意見があり、同じ講師ということになった。</p> <p><久高事務局長>経験が無い会員が、その場に行って対応するのは難しいと思 われる。打ち合わせが必要。</p> <p>下里理事、上地理事を中心に細かな調整をしていった方が良いと思う。</p>	
審議結果	<p>全員一致で可決。</p> <p>可：14名</p> <p>否：0名</p>	
	担当局：事務局	担当部：県・市町村事業担当 上地
備考		

第 5 号議案 沖縄 JRAT 協賛に関する件

提出日：令和 6 年 6 月 11 日	提出者：上地誠之
担当局：事務局	担当部：総務部
議案主題	沖縄 JRAT 協賛に関する件【資料ファイル 5】
議案内容 及び 提出理由	<p>沖縄 JRAT では、災害対策に向けた勉強会の必要性を強く認識している。そこ で、熊本地震で災害医療に貢献された佐藤亮先生を招聘し、演習型の災害リハ ビリテーション研修会を企画している。</p> <p>研修会の開催の趣旨にご賛同いただき、ご協賛を賜りますようお願い申し上げ ます。</p> <p>協賛金額：1 口 50,000 円</p> <p>会期：2024 年 10 月 5 日（土）14 時～</p> <p>会場：おきなわクリニカルシュミレーションセンター3 階</p> <p>内容：災害リハビリテーションに関する研修会</p> <p>定員：80 名</p> <p>対象者：医師・理学療法士・作業療法士・言語聴覚士</p> <p>※ただし、協会会員に限る</p>
審議内容	<p>協賛金の可否について</p> <p>【質疑応答】</p> <p><久高事務局長>今までは年会費を徴収していたのでしょうか。。</p> <p><上地理事>昨年度も年会費 1 万円を支払っています。ただし、今年度は年会費の 依頼はまだ来ておりません。</p>

	<p><久高理事>年会費とは別で協賛金を出すということになるかと思います。</p> <p><安村理事>当協会以外で協賛金を出している団体はありますか？内容を確認してみると、1日で5万は妥当かと思います。</p> <p><上地理事>他団体はOT, ST、沖縄県リハビリテーション医学会となっており、参加は会員のみとなっている様です。</p>	
審議結果	<p>全員一致で可決。</p> <p>可：14名</p> <p>否：0名</p>	
	担当局：事務局	担当部：総務部
備考	支払期間：9月2日（月）まで	

第6号議案 デフバレー世界大会への理学療法士派遣に関する件

提出日：令和6年6月11日	提出者：當間智史
担当局：事務局	担当部：スポーツ事業部
議案主題	デフバレー世界大会への理学療法士派遣に関する件【資料ファイル】
議案内容及び提出理由	<p>4.22付けでデフバレー協会事務局より当協会へ医療支援スタッフの委嘱依頼があり、大会期日も迫っている事から6月3日（月）より広報開始しています。</p> <p>会期：2024年6月21日（金）～6月30日（日）</p> <p>会場：豊見城市体育館</p> <p>内容：選手へのケア、テーピング、MDへの状況報告</p> <p>必要最低人員：1試合2～4名（最低20名）</p> <p>謝金：5,000円/日 弁当を支給（デフバレー協会より）</p>
審議内容	<p>派遣依頼協力の可否について</p> <p>【質疑応答】</p> <p><當間理事>現在の申し込み状況10名。サポート可能な日が3日。明日の午前中までに一旦提出する。</p> <p><久高事務局長>4月に先方は依頼文書を送っていたようだが届いていなく急な対応となった。人数が少ないのが気なるが、どこが当てがあるのか？</p> <p><當間理事>スポーツ事業部のラインで募集予定。謝金等は協会を通さずに行う</p>

	<p><立津副会長>スポーツ事業部は精鋭部隊。野球にとどまらず全世界に向け活動を行っていったらどうか。</p> <p><當間理事>世界大会と時期が重なっておりスポーツ事業部からは人員が確保できていない。募集期間：6月13日（木）までで一旦事務局へ派遣名簿を提出予定。ギリギリまで募集募り、可能な限り大会サポート日程充足目指したい。</p>	
審議結果	<p>全員一致で可決。</p> <p>可：14名</p> <p>否：0名</p>	
	担当局：事務局	担当部：総務部
備考		

第7号議案 協会 Instagram アカウント開設に関する件

提出日：令和6年6月11日	提出者：比嘉俊文
担当局：地域局	担当部：情報システム広報部
議案主題	協会 Instagram アカウント開設の件
議案内容及び提出理由	<p>県民向けの広報手段として協会 Instagram アカウントの開設を検討したい</p> <p>既存の Facebook と共に県民向けの広報手段として運用していく予定。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・令和5年度 Facebook 投稿 81回（会員向け情報が主） ・令和6年度は県民への広報手段として活用したい <p>→当面は事業報告の記事などを県民へ向けても届ける視点</p> <p>→今後の新たな施策は随時検討しながら運用</p>
審議内容	協会 Instagram アカウント開設 の可否について

審議結果	全員一致で可決。 可：14名 否：0名	
	担当局：地域局	担当部：情報システム広報部
備考	・事業計画ではSNS運用としており、既存のFacebookに加えInstagramを併せて運用していくのを見据えた計画。	

第8号議案 第42 沖縄県小児糖尿病サマキャンプ『ハッピーサマクラブ』後援に関する件

提出日：令和6年6月12日	提出者：勢理客直子
担当局：事務局	担当部：総務部
議案主題	第42 沖縄県小児糖尿病サマキャンプ『ハッピーサマクラブ』後援に関する件
議案内容及び提出理由	<p>本キャンプは、ストレスや孤独感から血糖コントロールが乱れがちになる小児糖尿病の子供達と、多くの仲間や先輩、医療スタッフと日常に近い生活を共にしながら、正しい知識や、低血糖などへの対処方法など『糖尿病との付き合い方を学ぶこと』を主な目的としています。</p> <p>これまで、沖縄県糖尿病協会と琉球大学医学部第二内科が中心となって第41回まで開催していましたが、第42回より沖縄県糖尿病協会と沖縄CDE会が主催となり、今回より後援の依頼を行う事になったようです。</p> <p>本法人は、理学療法士の職業倫理の高揚を図るとともに、理学療法の学術及び技能の向上を推進し、もって県民の医療・保健・福祉の増進に寄与することを目的とする。また、定款第4条(5)内外の関連団体との連絡及び協力に関する事業と考えられる。</p> <p>○開催日時：2024年9月15日(日)～9月16日(月) ○場所：沖縄県立玉城青少年の家 ○主な後援：琉球大学医学部第二内科、沖縄県糖尿病対策推進会議 ○返信締切日：2024年6月30日(日)</p> <p>以上にて、後援への審議をお願いいたします。</p>
審議内容	<p>後援の可否について</p> <p>【質疑応答】 <安村理事>主催団体の沖縄CDEとは、どのような団体でしょうか？実際に理学療法士も登録しているのでしょうか？ <上地理事>沖縄CDE会とは、沖縄県日本糖尿病療養指導士会と沖縄県地域糖尿病療養指導士会で新しく発足した団体となります。会員の中には理学療法士の会員もいらっしゃいます。</p>

審議結果	全員一致で可決。 可：14名 否：0名	
	担当局：事務局	担当部：総務部
備考		

第9号議案 第25回沖縄県理学療法学術大会後援依頼団体に関する件

提出日：令和 6年 6月 11日	提出者：安村大拙、島袋公史、島袋みちる
担当局：第25回沖縄県理学療法学術大会	担当部：実行委員会
議案主題	第25回沖縄県理学療法学術大会後援依頼団体に関する件
議案内容及び提出理由	<p>第25回沖縄県理学療法学術大会において、医療福祉に関わる団体（15団体）と沖縄県に後援依頼を行いたいと考えております。以下団体に後援をしていただくことで県内の医療福祉における本協会の社会的信頼や信用にも繋がると考えます。ご審議の程宜しくお願い致します。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 一般社団法人 沖縄県医師会 2 公益社団法人 沖縄県看護協会 3 一般社団法人 沖縄県介護支援専門員協会 4 一般社団法人 沖縄県作業療法士会 5 一般社団法人 沖縄県言語聴覚士会 6 一般社団法人 沖縄県リハビリテーション専門職協会 7 公益社団法人 沖縄県栄養士会 8 一般社団法人 沖縄県歯科衛生士会 9 一般社団法人 沖縄県医療ソーシャルワーカー協会 10 一般社団法人 沖縄県社会福祉士会 11 一般社団法人 沖縄県薬剤師会 12 一般社団法人 沖縄県臨床工学技士会 13 NPO 法人 沖縄呼吸ケア研究会 14 公益財団法人 沖縄県スポーツ協会 15 NPO 法人 沖縄県障がい者スポーツ協会 16 沖縄県
審議内容	<p>1 後援依頼の可否について (可・否)</p> <p>【質疑応答】 <安村理事>12番以下から今年から依頼予定団体。 <玉城理事>学術大会の城間顧問より、開催地の恩納村にも依頼したらどうかとの提案があった。</p>

	<p><久高事務局長>今までは開催地からも名称後援をもらっていた。沖縄県に依頼する場合は沖縄県医療政策課が窓口となる。</p> <p><千知岩監事>沖縄県リハ医学会も入れてはどうか。</p> <p><末吉会長>恩納村と沖縄県リハ医学会の追加も検討してもいいと思います。</p>	
審議結果	<p>全員一致で可決。</p> <p>可：14名</p> <p>否：0名</p>	
	担当局：第25回沖縄県理学療法学会	担当部：実行委員
備考	<p>17 恩納村</p> <p>18 沖縄県リハビリテーション医学会</p> <p>後援依頼の団体として上記の2つが追加でされることとなった。</p>	

公益社団法人 沖縄県理学療法士協会

会長 末吉 恒一郎

監事 千知岩 伸匡

監事 南部 路治